

ま え が き

ここに、平成16年度和歌山県教育研修センター研修員の1年間にわたる研修・研究の成果の一端を「研修員集録 第30集」として刊行しました。

昨今、I E AやO E C Dの国際調査等による我が国の子どもたちの学力低下傾向や、学びを楽しく思う子どもの割合が諸外国平均を下回っていること、また、県内の学力診断テスト結果では、読解力や記述力に課題が見られることなど、様々な教育課題が指摘されています。

こうした中、当教育研修センターでは、今日的な課題をふまえ、各種研修事業を行うとともに、教員の資質、指導力の向上を支援しており、この長期研修員制度もその重要な役割を担っています。

本県の長期研修員制度は、昭和50年に始まり、本年度は30周年という大きな節目を迎えました。その間、大勢の研修員を県内各地域に輩出し、各地方や学校の中核的な存在として、また、教育関係機関等においても活躍し、本県教育の充実・発展に大きく貢献しています。

本年度の長期研修員14名は、自ら設定したテーマに基づく研究と、センター指定のテーマで研究した指定研究に分かれ、授業研究、事例研究、調査研究等を行いながら、実践的研究を進め、その成果や新たに見いだした課題等を本誌にまとめています。紙面の都合上、資料や授業記録等は大幅に割愛しなければならず、また、筆至らないところもあるかと思いますが、是非ともご高覧の上、忌憚のないご意見を賜れば幸いに存じます。

最後になりましたが、和歌山県教育研修センターは、平成17年度から「和歌山県教育センター学びの丘」として田辺市新庄町へ移転、開所いたします。これを契機に、今まで培ってきた長期研修員制度をさらに充実させ、本県教育を一層確かなものにしていきたいと考えております。

本年度、各研修員が研究を進めていくにあたり、あたたかいご支援・ご協力をいただきました教育関係機関並びに各学校の先生方に心からお礼を申し上げます。

平成17年3月

和歌山県教育研修センター
所 長 吉 松 敏 隆